





令和7年度学校評価 結果と考察

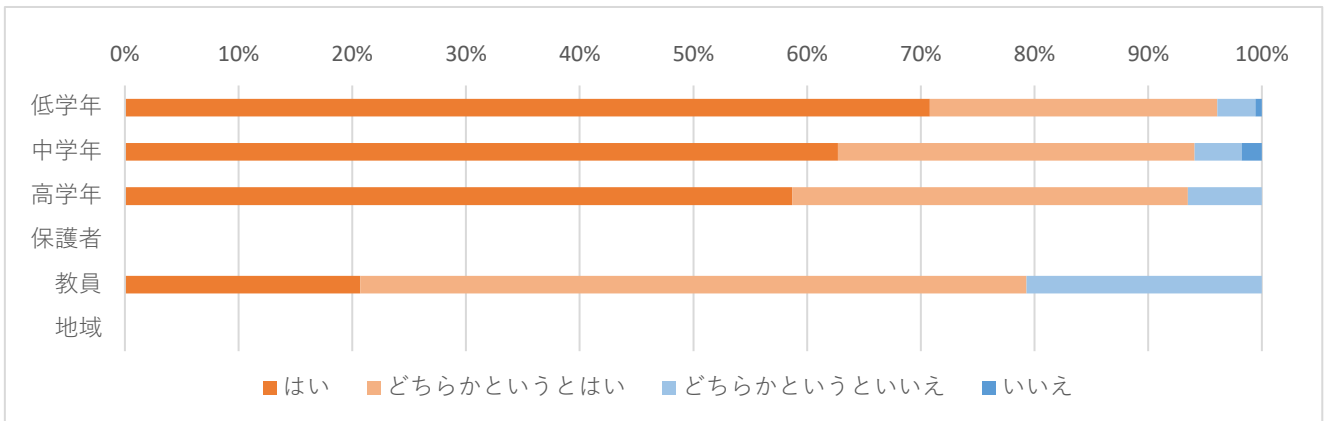
知立市知立西小学校

- ▶ アンケート対象者 児童 低学年(1・2年生) 中学年(3・4年生) 高学年(5・6年生) 保護者(家庭数)
教員 地域の方(学校評議員、民生児童委員、太陽サポート見守り隊代表)

- ▶ 回答  はい  どちらかというとはい  どちらかというといいえ  いいえ

※ 本アンケートの各項目は、実際の質問内容を要約したものです。

1. 児童は、学校で先生や友達に、自分からあいさつをしていますか。

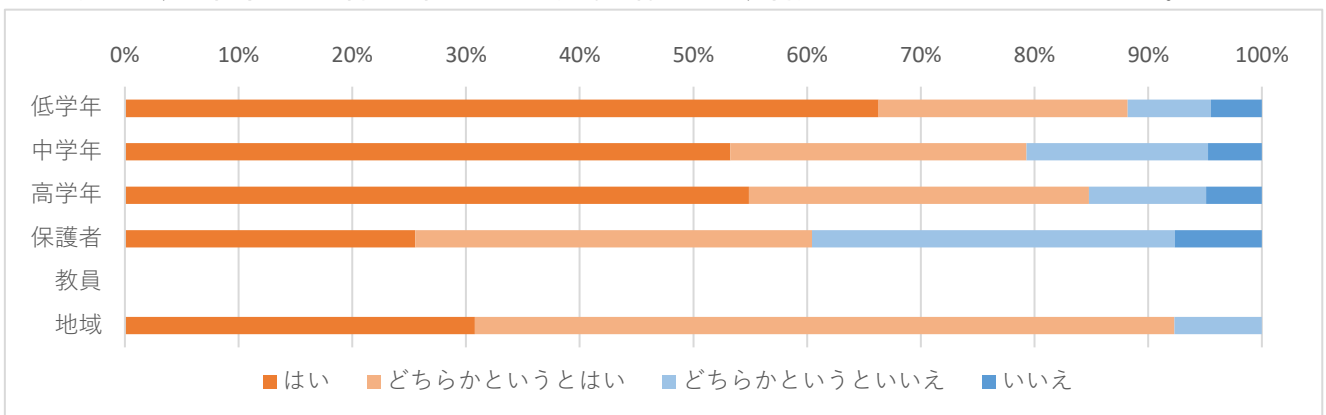


▶ 分析・考察

・多くの児童が校内での挨拶が進んでできていると感じている。教員との差の原因として、担任など、関わりの深い教員には挨拶ができるが、そうでない教員に挨拶ができない子がいることが考えられる。

★児童の挨拶運動等の取組を支援するとともに、教員が率先して挨拶を行っていききたい。

2. 児童は、登校中に立ち番や太陽サポート見守り隊の方に、自分からあいさつをしていますか。



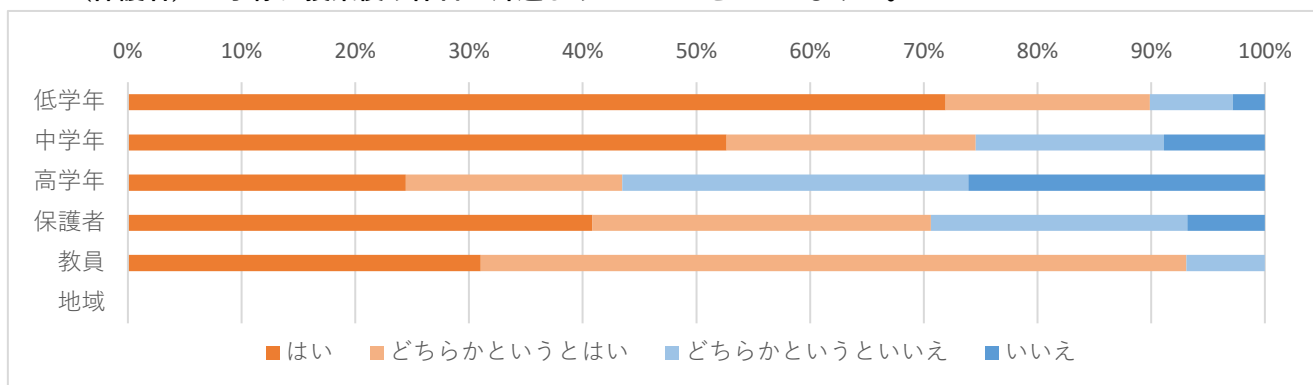
▶ 分析・考察

・校内と比べ、校外では進んで挨拶ができる割合が下がっている。また、交通立ち番の保護者の方に挨拶が進んでできない児童が多い。

★通学班会や一斉下校の機会を活用し、班長など高学年が率先して行えるよう、働きかけていく。

3. 児童は、放課によく外で遊びますか。お子様は授業後等に外遊びやスポーツをしていますか。

(保護者) お子様は授業後や休日に外遊びやスポーツをしていますか。

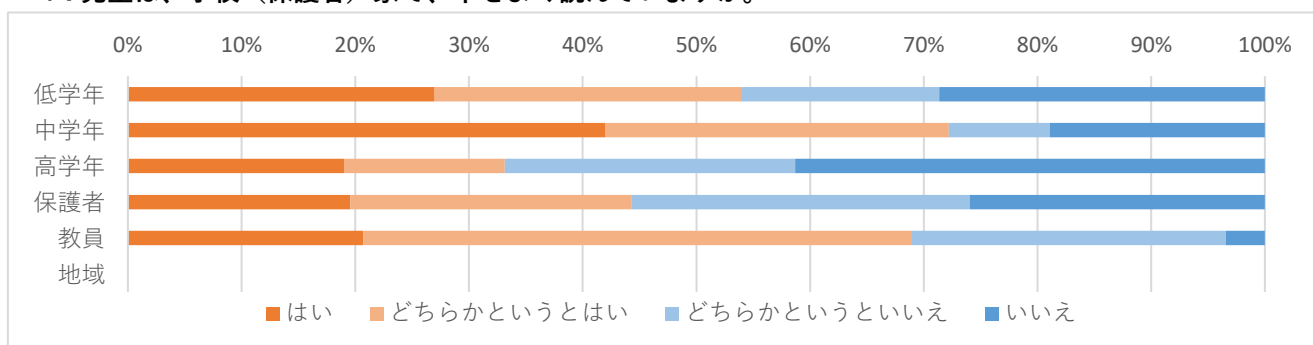


▶ 分析・考察

・学年が上がるにつれて、外遊びをしない傾向がある。高学年では、半分以上の児童が室内で過ごしている。

★声を掛け外遊びを奨励するとともに、逆上がり補助器や縄跳びジャンプボード、ホッピング（ベルマークによる購入）、バスケットボールなどを新しく取り入れた。有効に活用していきたい。

4. 児童は、学校（保護者）家で、本をよく読んでいますか。



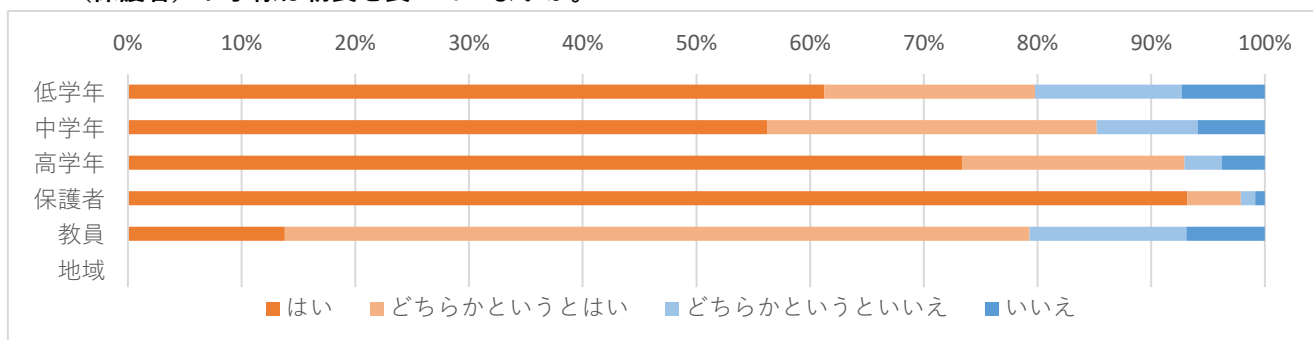
▶ 分析・考察

・学校、家庭のいずれにおいても、読書に親しんでいる児童が少ない。特に高学年において少ない。

★「西小っ子タイム」などで、読書に親しむ機会を設定していく。また、地域の方や児童のクラブ活動などによる読み聞かせなどを積極的に取り入れ、読書の楽しさを感じられるようにする。

5. 児童は、給食を残さず（へらしてもよい）食べていますか。

(保護者) お子様は朝食を食べていますか。



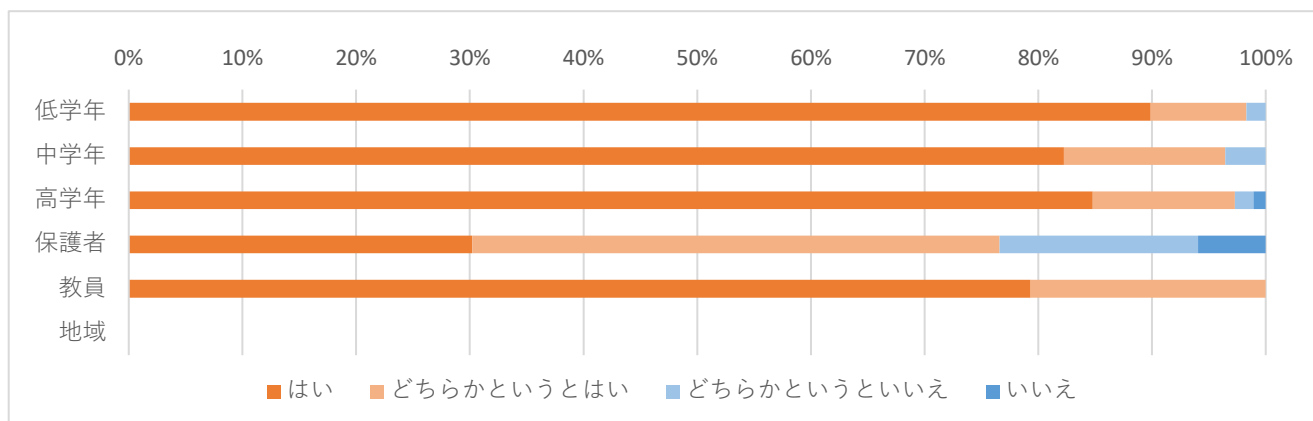
▶ 分析・考察

・学年が上がるにつれ、給食をしっかり食べられる児童が増えている。ほとんどの児童が朝食がとれている。

★栄養教諭による声掛けや給食指導を行うなど、本校の特色でもある食育の充実に向けて、今後も取り組んでいく。

6. 児童は、給食後に、歯みがきをしていますか。

(保護者) お子様は昨年度より、歯磨きなど口の健康に留意するようになりましたか。

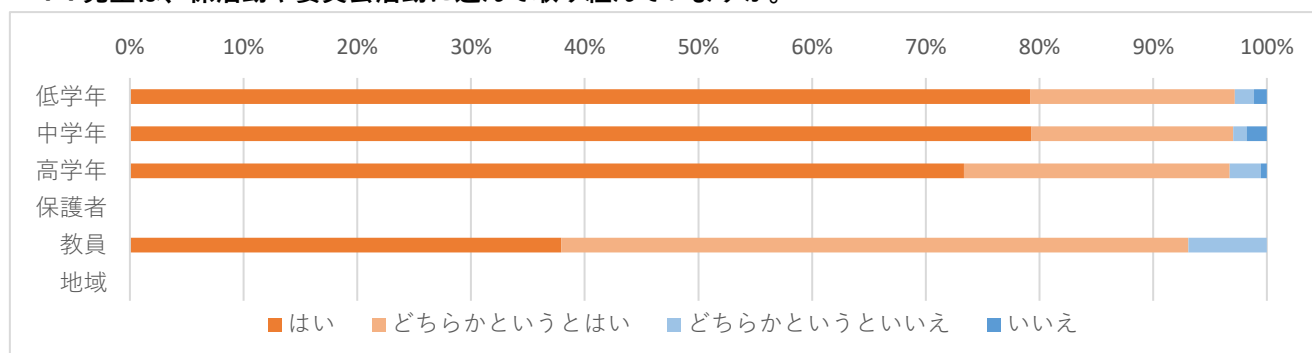


▶ 分析・考察

・給食後の歯磨きは多くの児童ができている。保護者アンケートから、児童の口の健康に関する関心が高まっている（約75%）ことが分かった。

★今後も給食後の歯磨きやフッ化物洗口に加え、学級活動等において歯と口の健康指導の充実を図る。

7. 児童は、係活動や委員会活動に進んで取り組んでいますか。

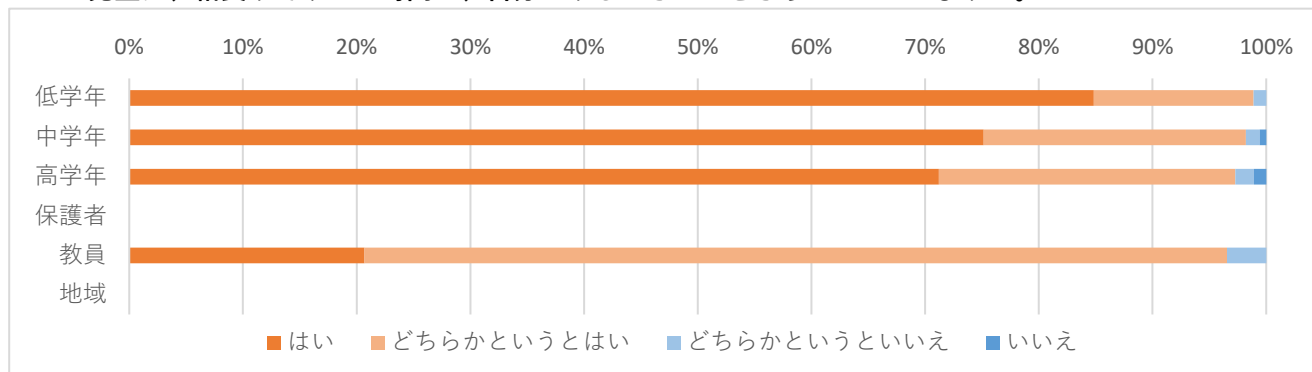


▶ 分析・考察

・どの学年においても、多くの児童が係・委員会活動に主体的に取り組んでいる。

★今後も児童の主体性を伸ばし、自己有用感の向上につながるよう、活動を支援していく。

8. 児童は、給食やそうじの時間に、自分のやるべきことをきちんとしていますか。

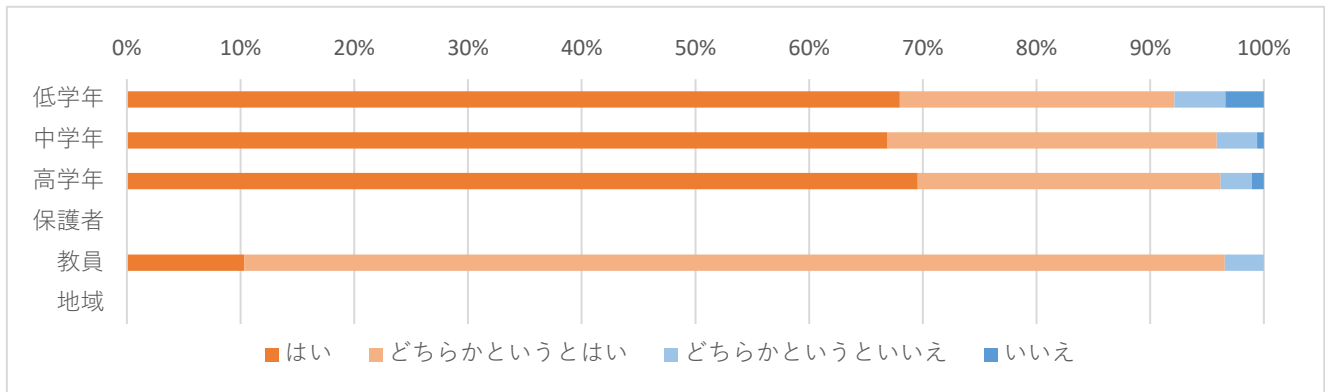


▶ 分析・考察

・どの学年においても、給食や掃除の時間において、自己の役割を果たそうと、ほとんどの児童が取り組んでいる。

★児童の頑張りを認め、今後も責任ある行動がとれるよう支援していく。

9. 児童は、次に使う人のことを考えて、トイレのスリッパをそろえていますか。

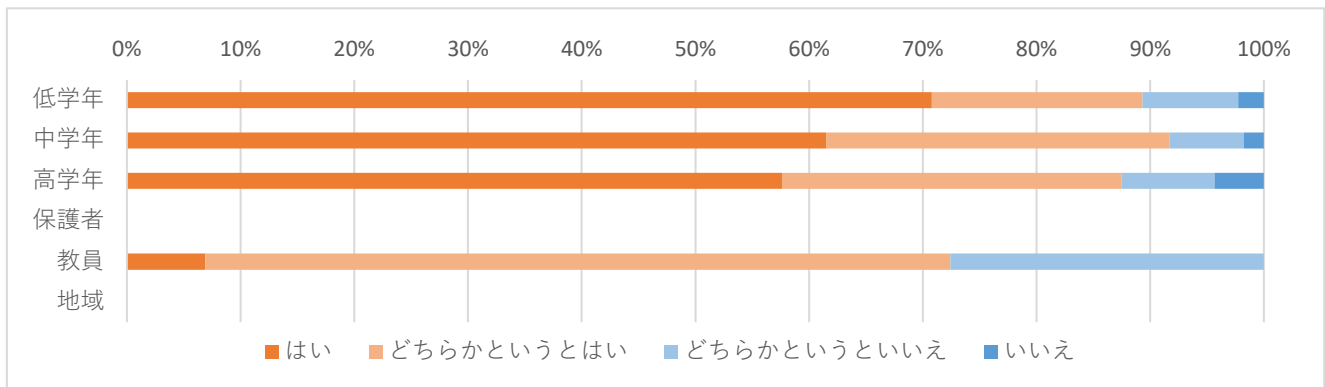


▶ 分析・考察

・児童の多くが「はい」と答えている。教員のほとんどが「どちらかというとはい」と答えている。

★今後も「次の人のことを考えて」といった思いやりのある行動がとれるよう、指導を継続していく。

10. 児童は、教室のロッカーの中など、自分の持ち物を整頓していますか。

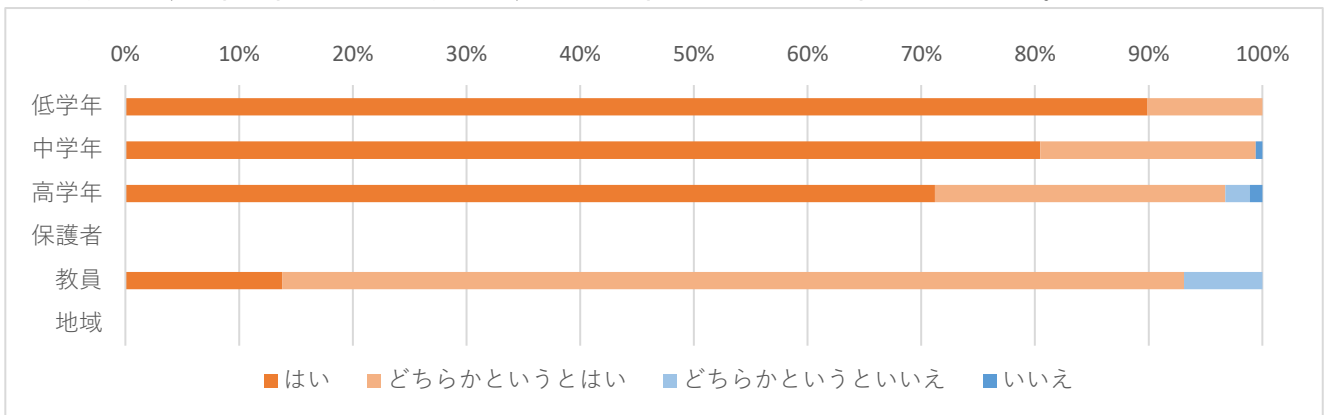


▶ 分析・考察

・9割ほどの児童が「はい」「どちらかというとはい」と答えているが、3割近くの教員があまりできていないと感じている。

★整理整頓は安全で気持ちの良い生活につながることを意識させ、指導を継続していく。

11. 児童は、学校の机やそうじ道具など、みんなで使うものを大切に使っていますか。



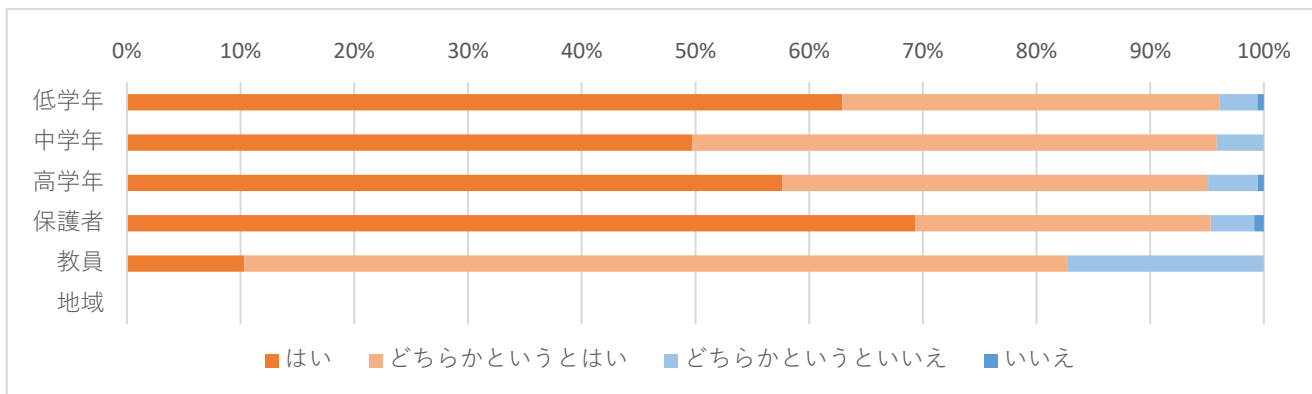
▶ 分析・考察

・設問10同様、全体的に「はい」「どちらかというとはい」が大変多いが、児童に比べ、教員はやや物足りなさを感じている。

★今後も機会を見つけ、継続して指導していく。

12. 児童は、チャイムを聞いたり、時計を見たりして、時間を守って生活していますか。

(保護者) お子様は通学班の集合時刻や愛のチャイムを守って生活していますか。

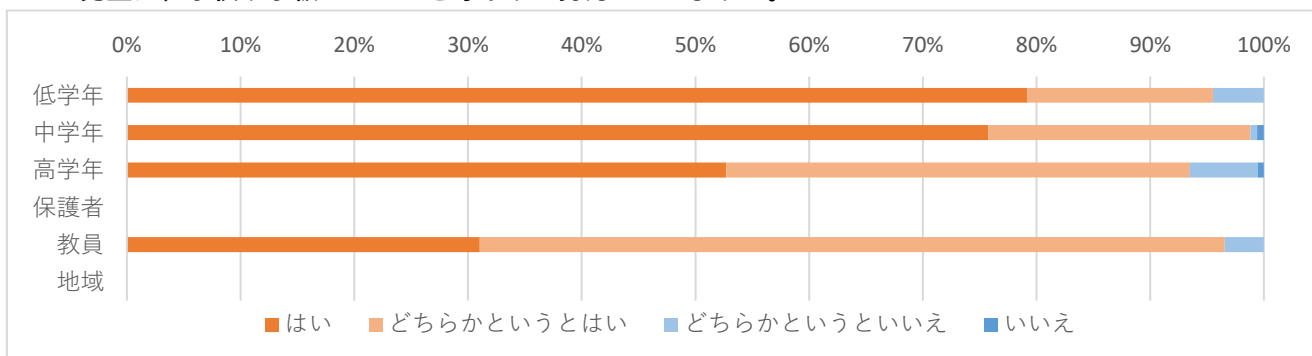


▶ 分析・考察

・時間を守って生活できていると感じている児童が多い。

★今年度はチャイムの回数を減らし、時間を意識して生活できるよう指導をしている。今後も時間守ることで活動時間を確保したり、有意義に生活できることを実感できるように支援していく。

13. 児童は、学校や学級のルールを守ろうと努力していますか。



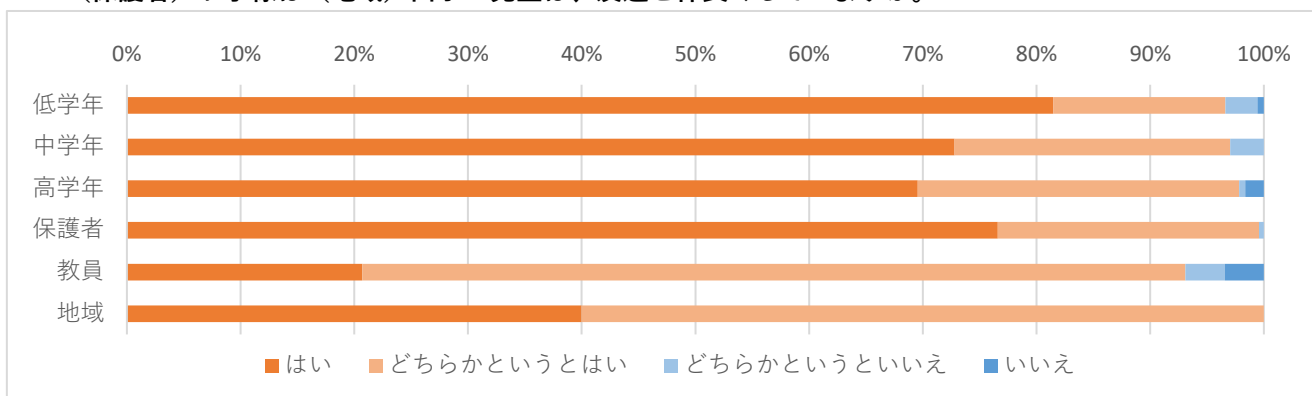
▶ 分析・考察

・どの学年においても、多くの児童がルールを守ろうとしている。

★今後も引き続き、ルールを守り、互いに気持ちよく過ごそうとすることの大切さを実感できるよう、指導していく。

14. 児童は、友達の気持ちを考えて、話したり、遊んだりしていますか。

(保護者) お子様は (地域) 西小の児童は、友達と仲良くしていますか。



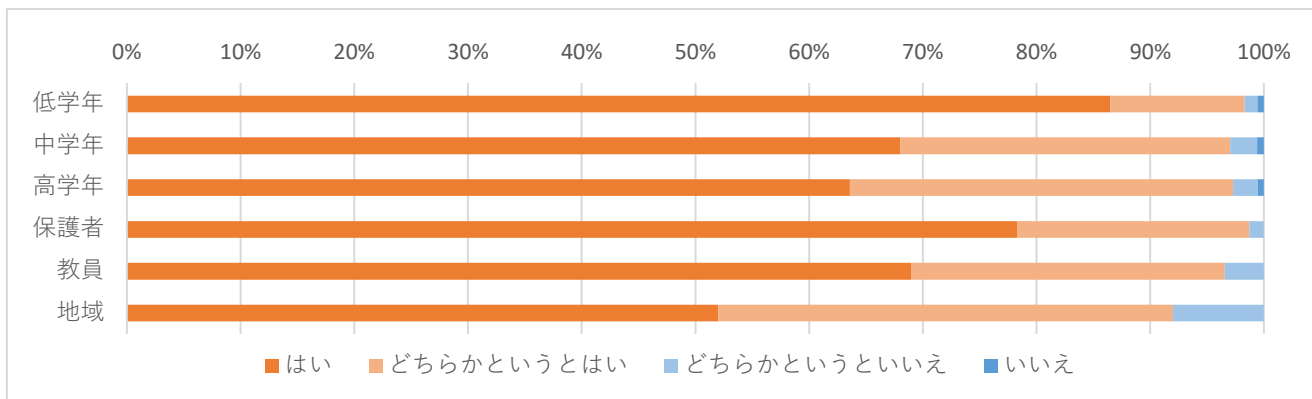
▶ 分析・考察

・児童、教員、保護者、地域の方のいずれも多くが「はい」「どちらかというとはい」と答えている。

★今後も、日常生活、学級活動、道徳の授業などを通し、互いを大切に、思いやる気持ちを育てていく。

15. 児童は、学校行事に一生けん命取り組んでいますか。

(地域) 地域の皆様は学校行事に参加されましたか。(予定を含む)

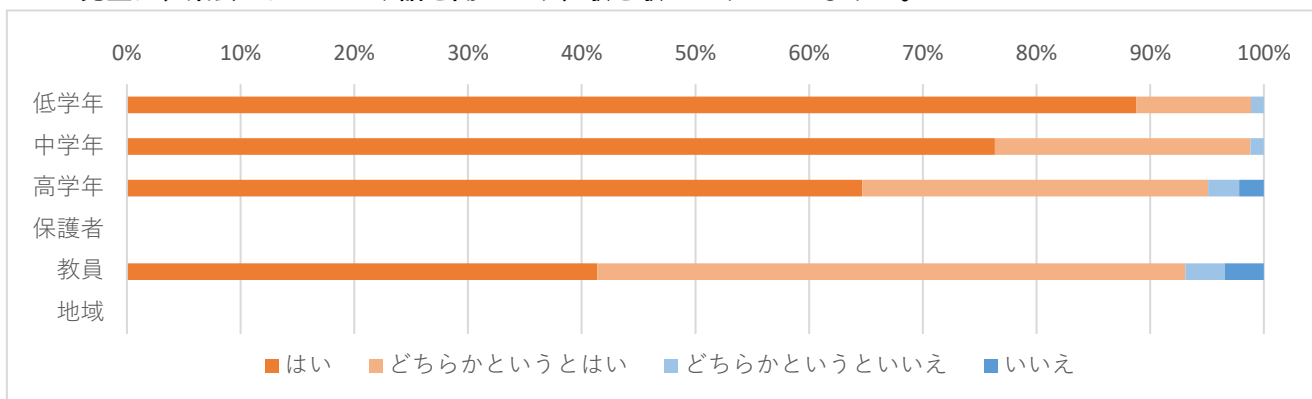


▶ 分析・考察

・児童、保護者、教員のいずれも、児童が行事に一生懸命取り組んでいると感じている。地域の方の行事への参加意識は高い。

★学校全体のカリキュラムにおいて、今後も実りある行事となるよう、内容等の検討・工夫を進めていく。

16. 児童は、集会ではしっかり話を聞いたり、歌を歌ったりしていますか。

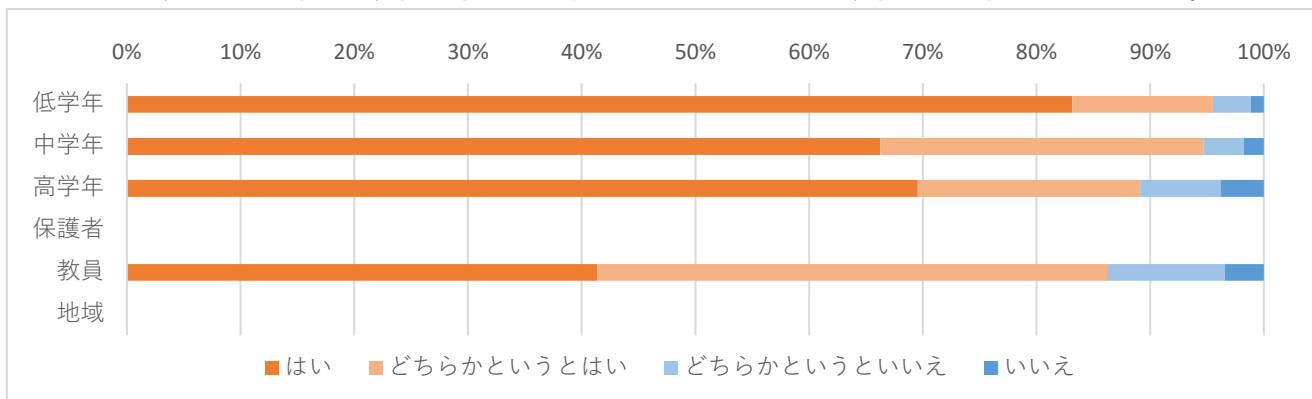


▶ 分析・考察

・児童・教員共に9割以上ができていていると感じている。

★今後も、学校生活をよりよくしたり、児童の頑張りやその成果を認め、自己肯定感を高められる場としたりすることができるよう、計画的に進めていく。

17. 児童は、なかよし活動で、他学年の子に対し思いやりの心もち、協力して活動していますか。

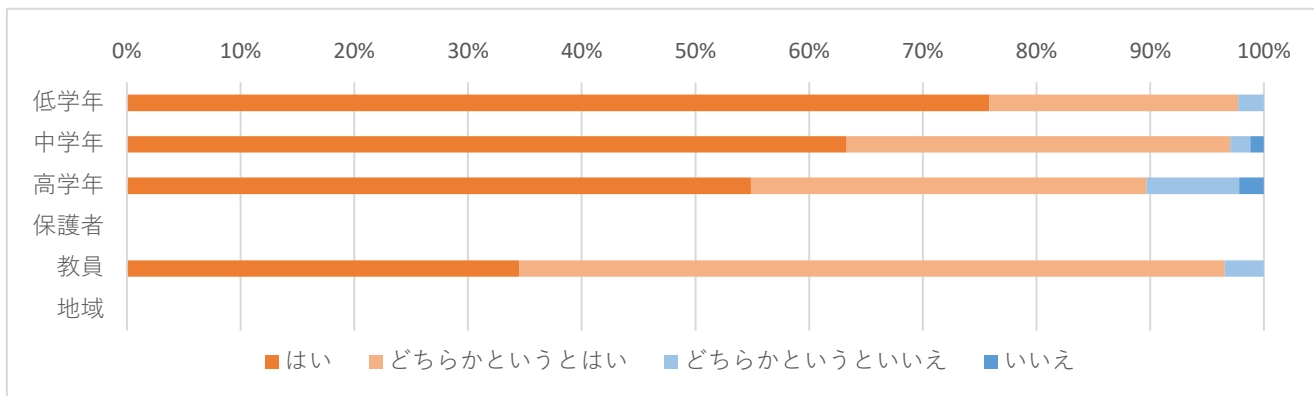


▶ 分析・考察

・どの学年も「はい」の比率が高い。特に、中心となって活動している高学年の満足度は昨年より高い。

★今後も、本校の特色でもある異学年交流活動の意義を児童に伝えるとともに、高学年の主体性や意欲を高め、より価値のある活動にしていけるよう、支援していく。

18. 児童は、授業中、進んで学習していますか。

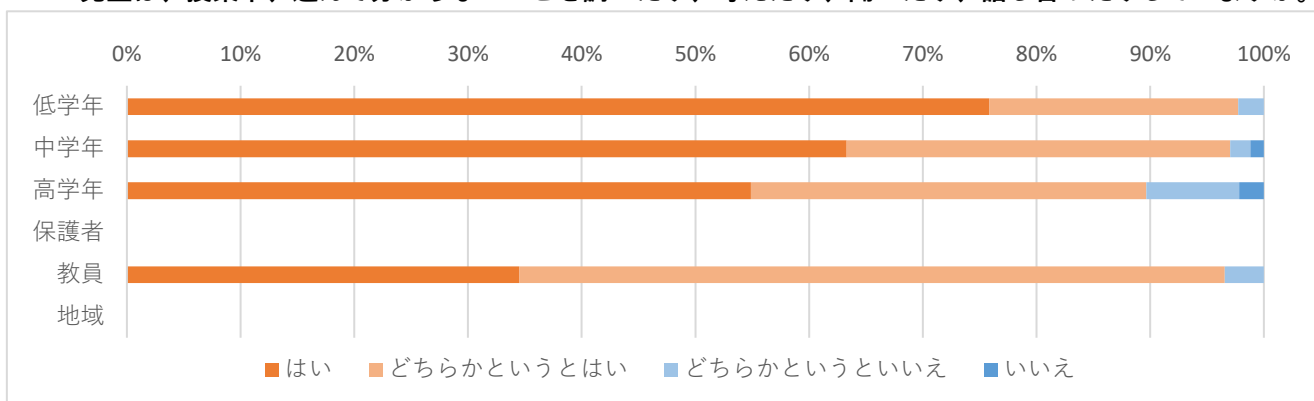


▶ 分析・考察

・進んで学習に取り組んでいると感じている児童が多いが、高学年がやや低い。

★児童がより主体的に取り組める授業づくりに努めていく。

19. 児童は、授業中、進んで分からないことを調べたり、考えたり、聞いたり、話し合ったりしていますか。

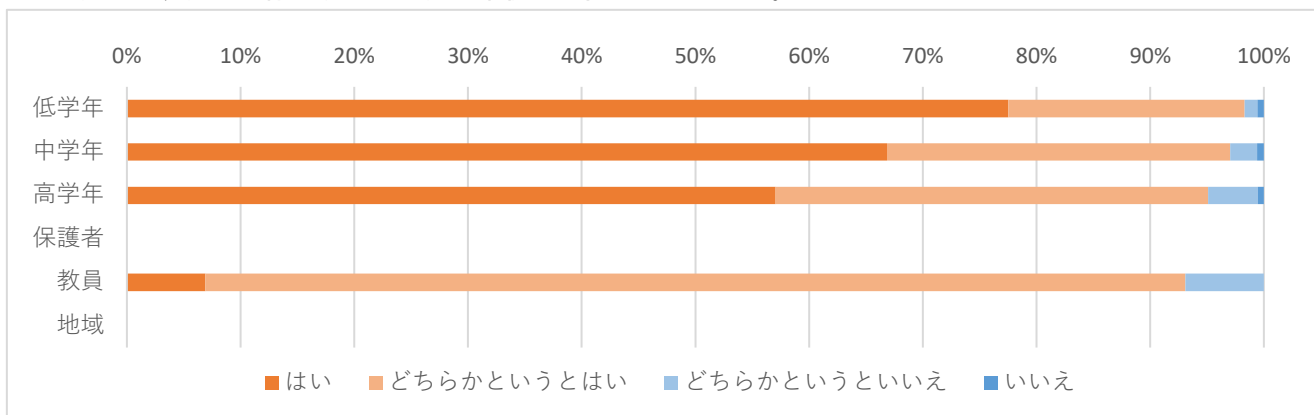


▶ 分析・考察

・どの学年も低くはないが、高学年の方が他学年より低い。

★学年が上がるにしたがって学習が難しくなるが、興味をもって課題に取り組んだり、友達との意見交流を行ったりできる授業づくりに努める。

20. 児童は、先生の話や友達の見解を最後まで聞いていますか。

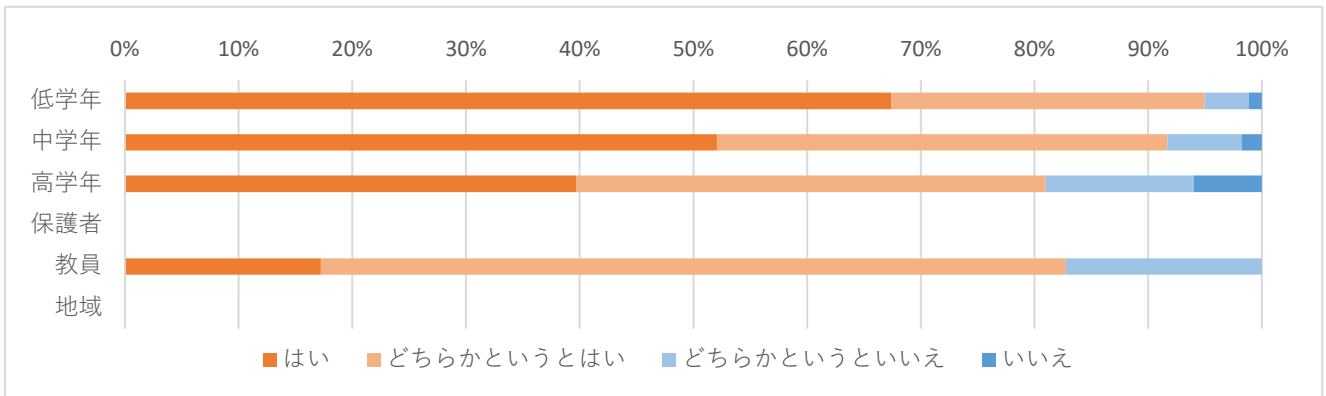


▶ 分析・考察

・児童・教員ともに「はい」「どちらかというとはい」は9割を超えるが、教員の「はい」の割合は少ない。

★今年度取り組んできた「さいころトーク」など、友達と話す取組を今後も行うことで、さらに思いを伝え合う喜びを感じられるようにする。

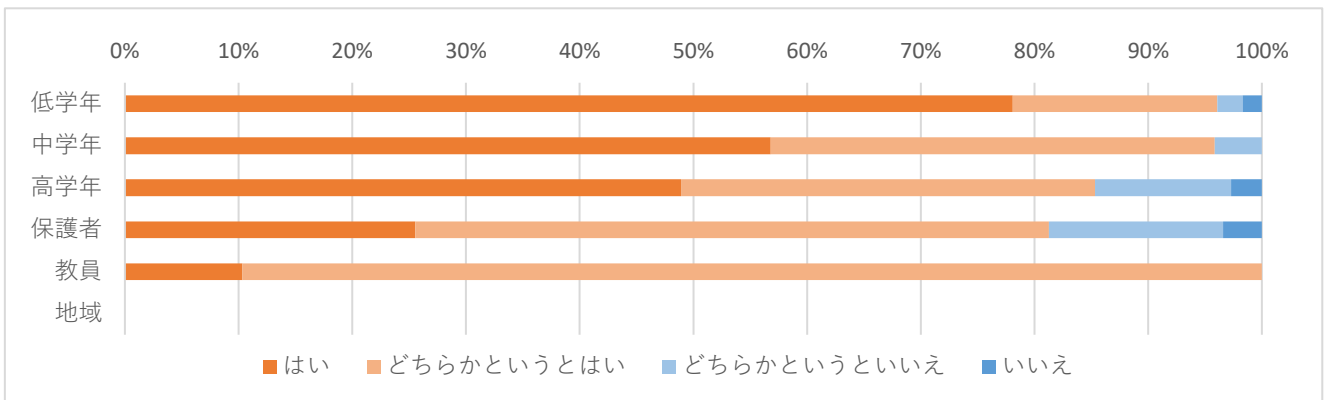
21. 児童は、自分の考えをクラスの仲間に分かるように伝えようとしていますか。



▶ 分析・考察

- ・設問20に比べ、児童・教員共に「はい」「どちらかというとはい」の割合が低く、高学年に傾向が強い。
- ★「西小っ子タイム」で「さいころトーク」などの取組を取り入れたり、自分の考えを伝える場を授業等で積極的に設けたりするとともに、安心して自分の考えを伝えられる学級づくりに力を入れていく。

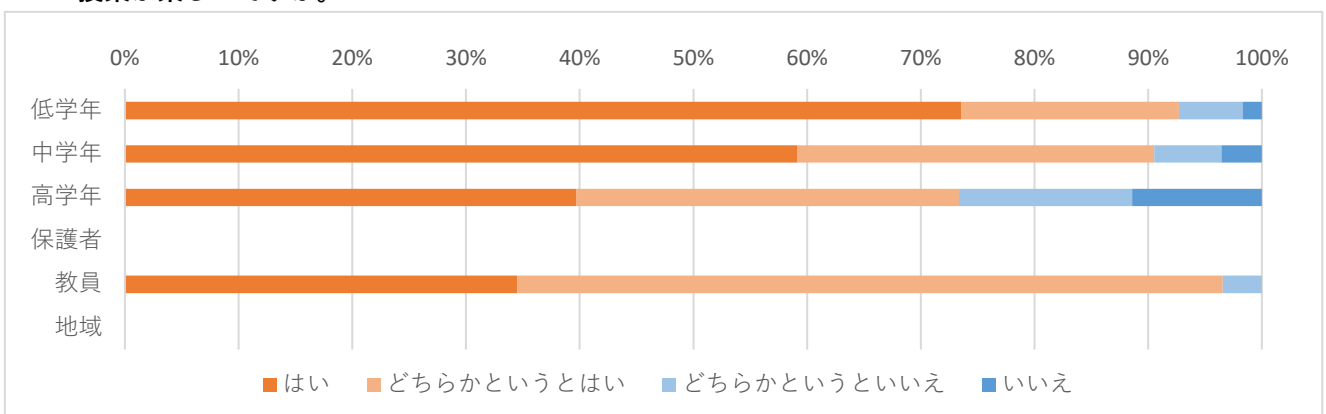
22. 授業がよく分かりますか。



▶ 分析・考察

- ・「いいえ」「どちらかというといいえ」の割合が、高学年になると15%と増えている。
- ★授業等において、さらに個別最適な学びを大切に、基礎基本の充実を図るよう、努めていく。

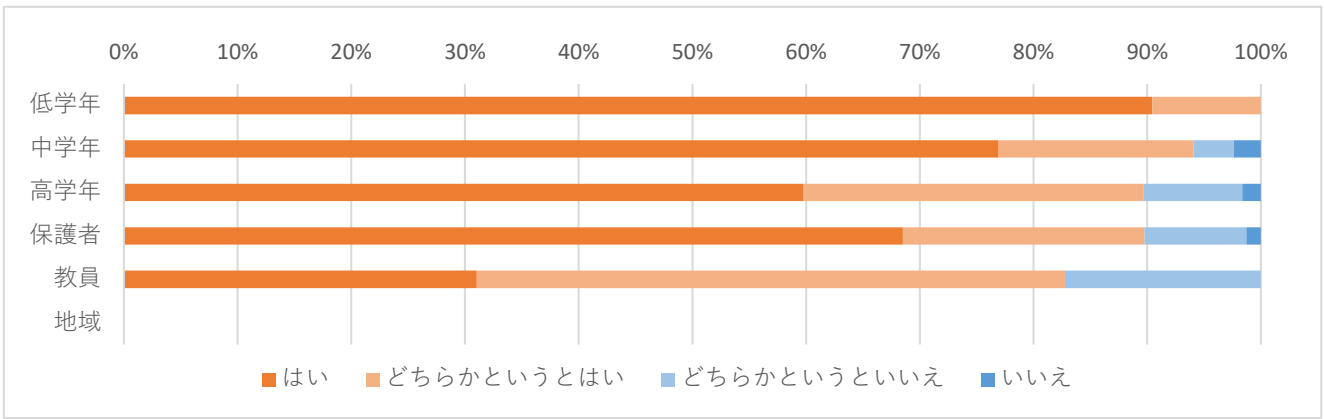
23. 授業が楽しいですか。



▶ 分析・考察

- ・設問22より「いいえ」「どちらかというといいえ」がやや高く、特に高学年にその割合が高い。
- ★体験活動を取り入れたり、課題解決的な学習や対話を大切にすることで、学ぶ楽しさを感じられる授業を目指す。

24. 児童は、学習以外に使わないなどのルールを守って、タブレットを使っていますか。

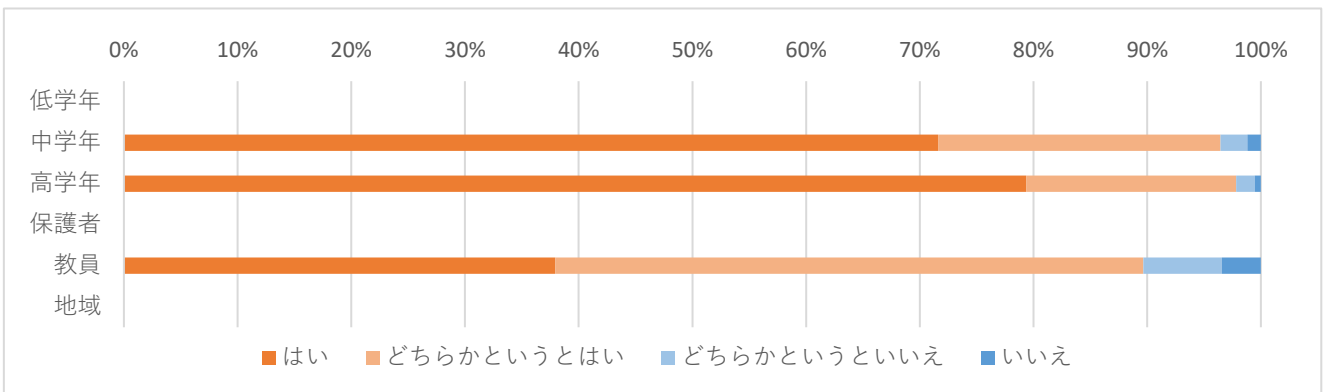


▶ 分析・考察

・学校・家庭のいずれにおいても、タブレット使用のルールが守れていない児童が一部いる。

★使用の目的や時間などの約束を守るよう、学校において引き続き指導をしていくとともに、家庭とも連携していく。

25. 児童は、知りたいことを調べる、発表するなどの学習にタブレットを活用していますか。

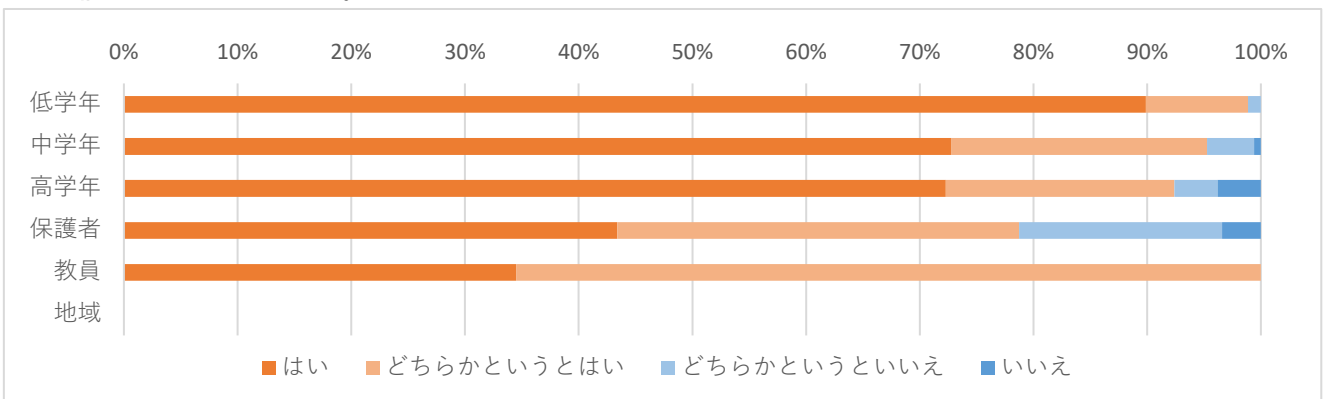


▶ 分析・考察

・ほとんどの児童が、調べ学習や発表の際にタブレットを活用することができている。

★学習の場面ごとに、タブレットを含む様々な手段のうち、より望ましい有効な方法を選択し、児童の思考力を高め、学びが深められるように努めていく。

26. 宿題をやっていますか。

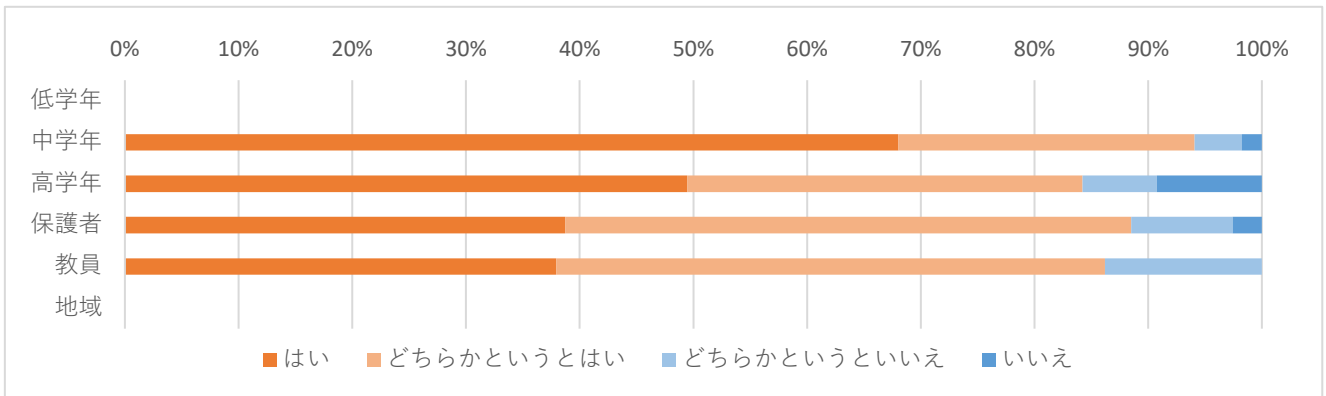


▶ 分析・考察

・ほとんどの児童が「はい」「どちらかというとはい」と回答しているが、保護者の2割余りが「いいえ」「どちらかといえはいえ」と回答している。

★家庭との連携を大切にしつつ、児童の学習習慣が身につくよう、今後も指導・支援をしていく。

27. 宿題が自分の力になっていると思いますか。



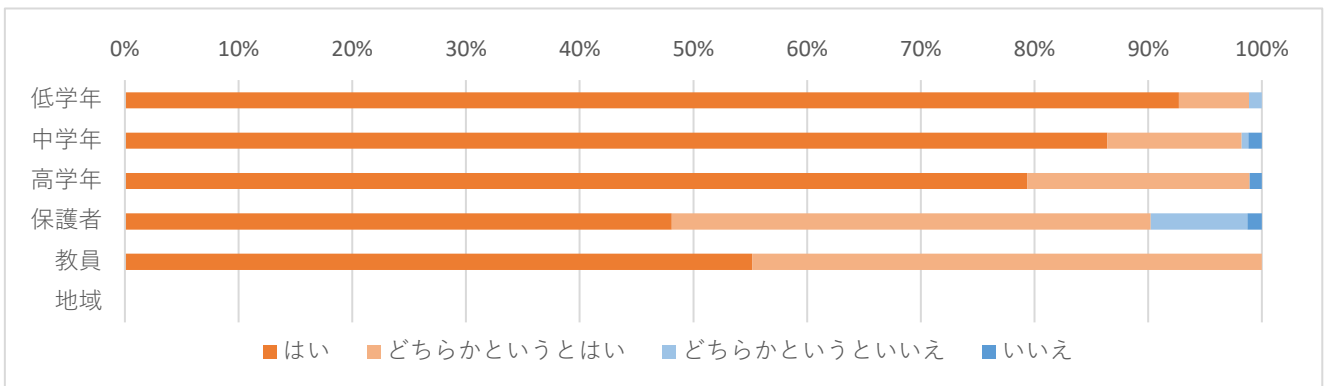
▶ 分析・考察

・多くが力になっていると感じているが、児童・保護者・教師共に一部、あまり力になっていないと感じている。

★宿題の量や内容について、児童にとってより有効なものとなるようになるよう努める。

28. 児童は、避難訓練や不審者訓練に真剣に参加できていますか。

(保護者) 学校は熱中症対策や防災・防犯対策など、児童の安全に努めていると感じますか。



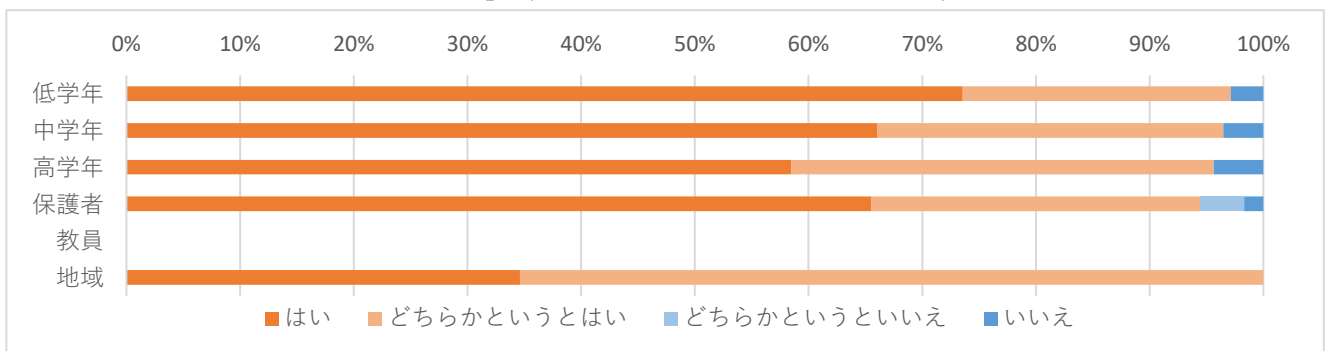
▶ 分析・考察

・学校における避難訓練や不審者対応訓練にほとんどの児童が真剣に取り組んでいる。

★警察や消防署と連携し、専門家の指導を受けながら訓練を実施した。夏季には暑さ指数をもとに屋外の活動を中止するなど熱中症予防に努めた。今後も児童の安全のため、アンテナを高くし、対策に努めていく。

29. 児童は、学校に楽しく通っていますか。

※児童については「なやみアンケート」(選択項目: 楽しい・普通・楽しくない) による

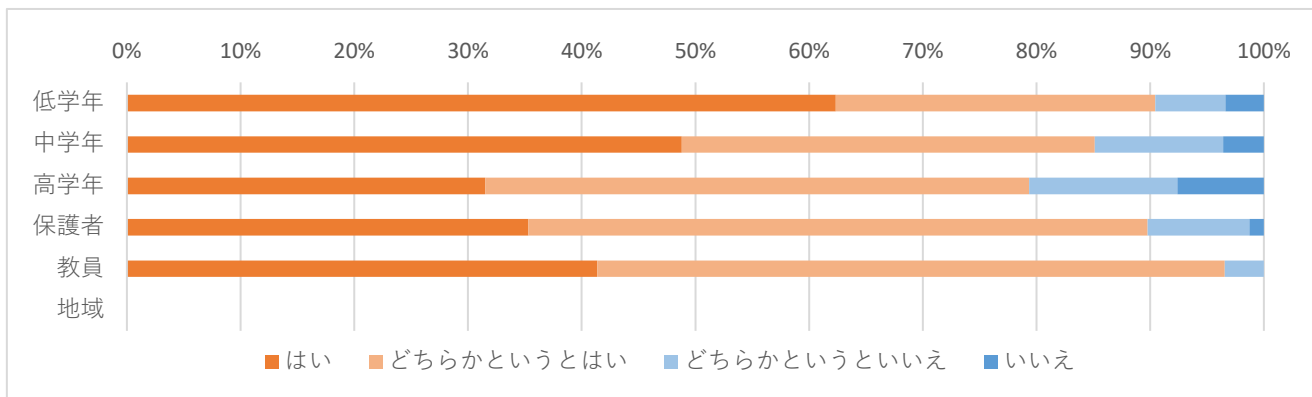


▶ 分析・考察

・児童の多くは楽しく学校に通えているが、一部、楽しく感じていない児童がいる。

★安心して過ごせる学級づくりや楽しく学べる授業づくりに励む。また、児童の様子に留意し、児童への声掛けを心がけるとともに、教員同士・家庭・地域と連携をとり、児童理解に努める。

**30. 児童は、嫌がることをしている人を見つけたとき、「やめよう」と声をかけたり、教師に伝えたりしていますか。
(保護者) 学校は楽しい学校づくりやいじめ防止に努めていると感じますか。**

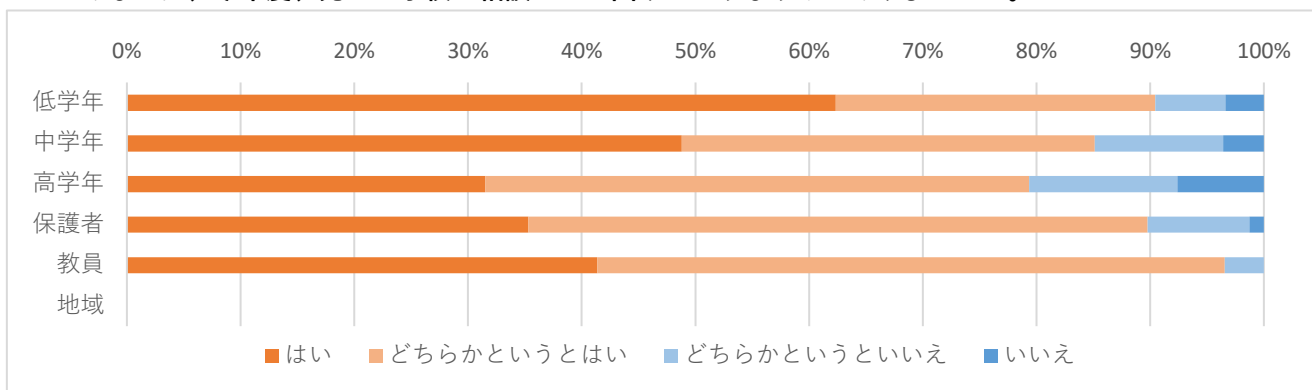


▶ 分析・考察

・「はい」「どちらかというとはい」の割合が高いものの、高学年になるにつれて低くなっている。

★今後もいじめや差別などを未然に防ぐ学級・学年・学校経営に努めるとともに、学年が上がるにつれて「やめよう」と言いづらくなる特性も踏まえ、さらにアンテナを高くしていく。

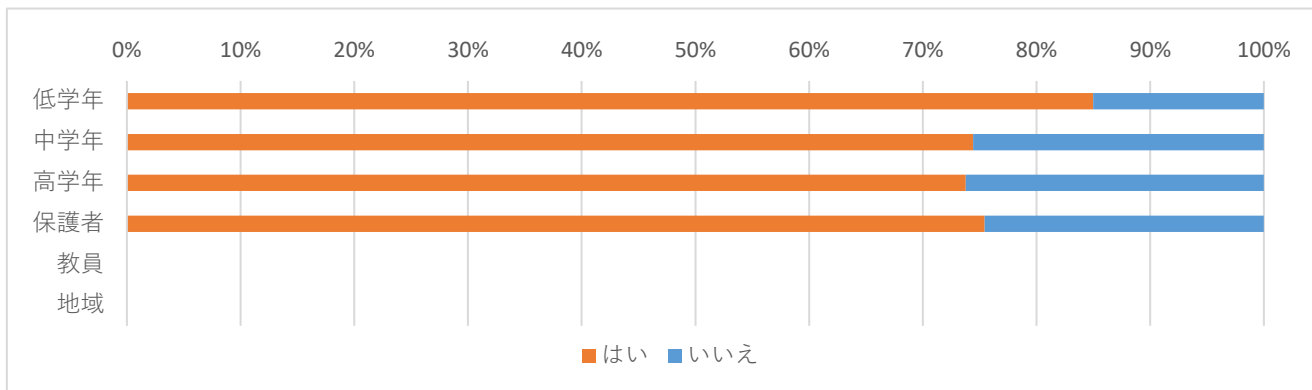
31. あなたは、今年度、先生・学校に相談したい困りごとや悩みがありましたか。



▶ 分析

・低学年 90%、中学年 85%、高学年 80%と多くの児童や保護者が困りごとや悩みがあったと回答している。

32. 先生や学校に相談はしましたか。

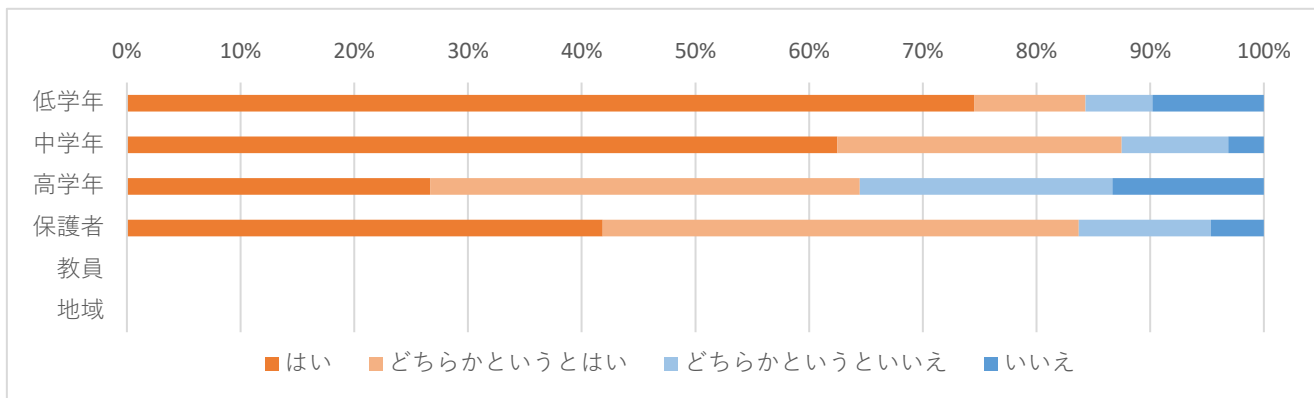


▶ 分析

・困りごとや悩みのあった児童、保護者のうち、75%ほどが相談をしたと回答している。

★「教育相談週間」における児童との相談時間を充分確保する。児童および保護者が相談できる信頼関係が築けるよう努める。

33. 困りごとや悩みは改善しましたか。

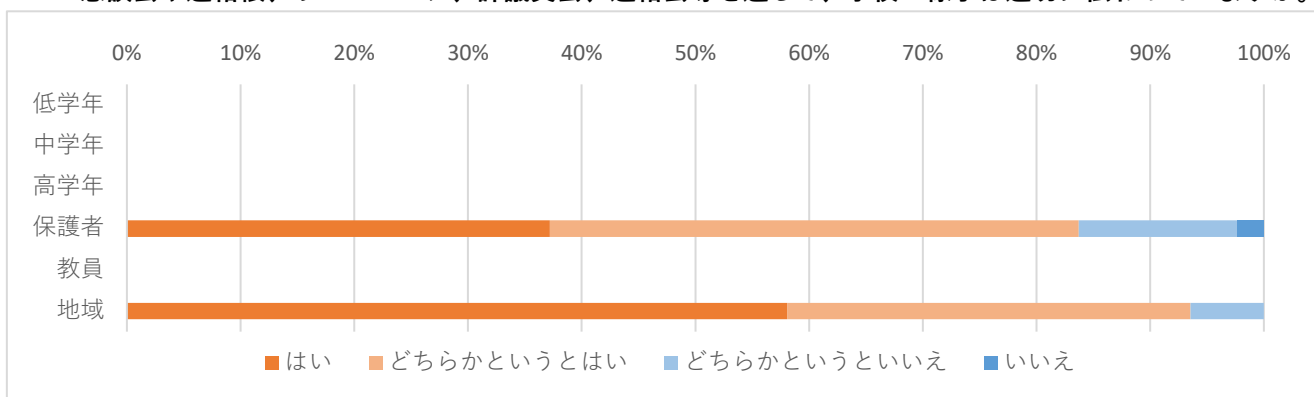


▶ 分析・考察

・改善したとの回答が、低・中学年・及び保護者は約85%、高学年は約65%である。

★今後も児童や保護者が相談しやすい関係を築き、より丁寧に誠実な相談活動に努める。また、必要に応じて、スクールカウンセラーなど、専門家との連携を進めていく。

34. 懇談会や連絡帳、ホームページ、評議員会、連絡会等を通して、学校の様子は適切に伝わっていますか。

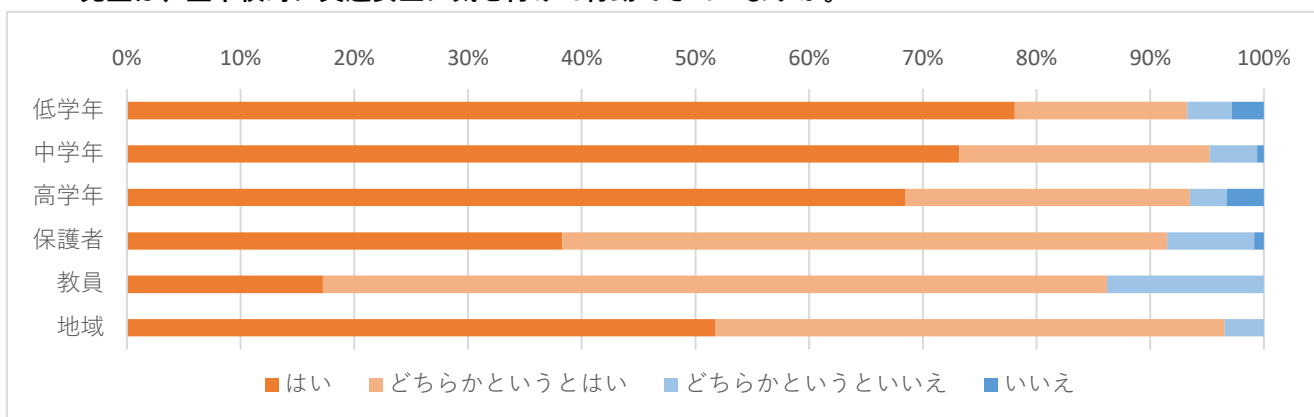


▶ 分析・考察

・保護者の83%、地域の方の95%が「はい」「どちらかというとはい」と回答している。

★ホームページやきずなメールなどの配信情報と紙媒体での情報提示の有効活用を今後も検討しながら進めていく。連絡帳の活用や電話、面談などによる保護者との連携を今後も大切にしていく。

35. 児童は、登下校時に交通安全に気を付けて行動できていますか。

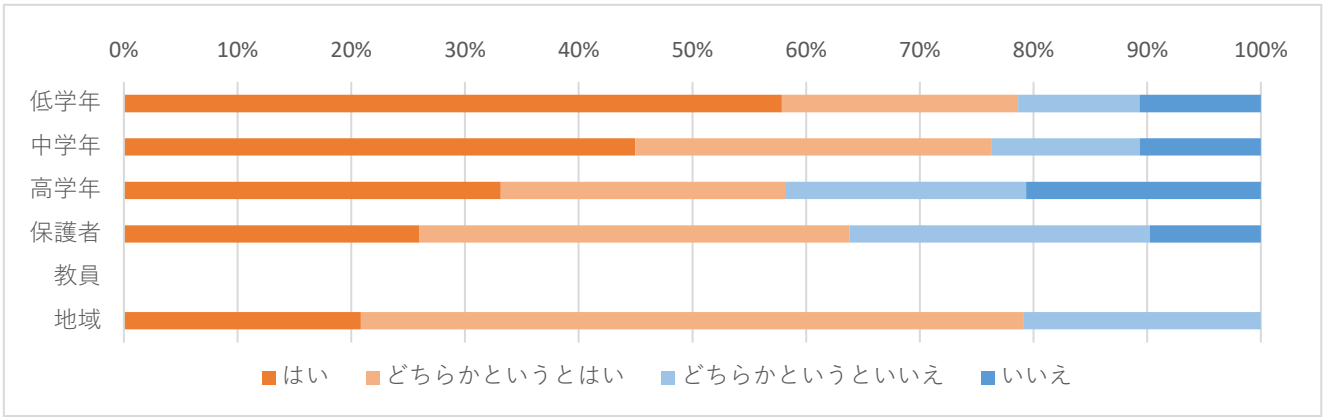


▶ 分析・考察

・児童、保護者、地域の方の9割以上が交通安全に気を付けて行動できていると回答している。

★交通少年団の児童を中心に児童主体の活動を支援するとともに、学級指導や通学班会において、今後も児童の安全意識の向上に努める。

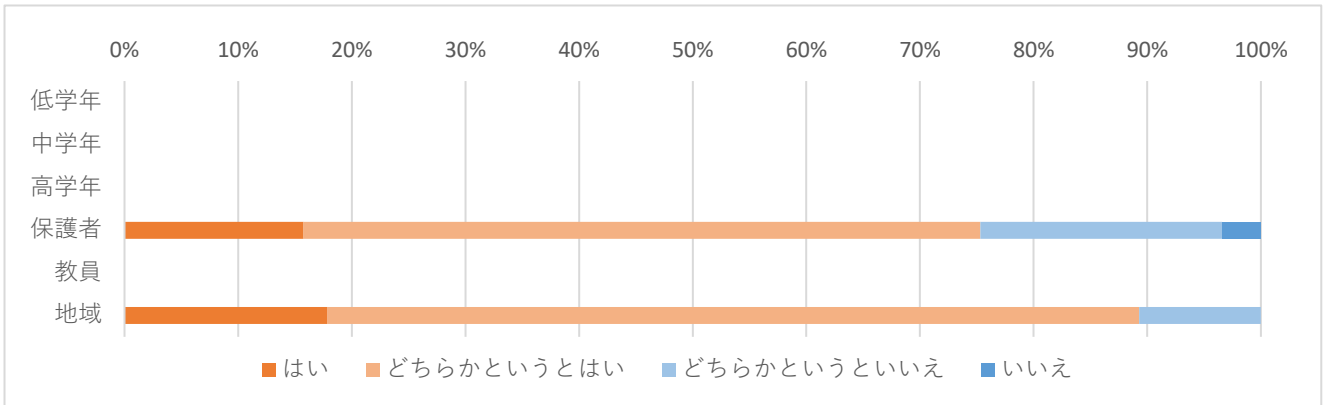
36. 児童は、地域の行事に参加していますか。



▶ 分析・考察

・地域行事へ参加は、低・中学年児童及び地域の方が80%弱、高学年児童及び保護者は60%前後が「はい」「どちらかというとはい」と回答している。

37. お子様の教育や子育てに関して、学校と家庭、地域との連携がなされていると感じますか。



▶ 分析・考察

・保護者の約75%、地域の方の90%が「はい」「どちらかというとはい」と回答している。
 ★令和8年度からコミュニティ・スクールが導入される。学校運営協議会を中心に、地域や家庭との連携をこれまで以上に図り、子供たちの健全な成長につなげていけるよう、努めていく。

